

チャペル週報

No.11

2015.6.15 ~ 6.19

神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。

これが、神から受けた掟です。

(ヨハネの手紙一 4章21節)



ランバス記念礼拝堂前

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

6月15日(月)神 <説教学演習A>岸 本 朝 予 (神学研究科M2)
経 キリスト教とラトビア神道の共存 ウギス・ナステビッチ (写真家)
人 音楽チャペル 聖歌隊
聖和 聖書物語 十戒
理 献血実行委員会

6月16日(火)神 献血実行委員会によるチャペル
文 永 田 雄次郎 (文学部教授)
社 献血実行委員会によるチャペル
法 音楽チャペル ゴスペルクワイア “P.O.V.”
経 経済と人間③ 猪 野 弘 明 (経済学部准教授)
商 English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
国 浅 野 淳 博 (神学部教授)
聖和 献血実行委員会
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 関西学院Sandian Brass

6月17日(水)神 ハンドベルクワイアによる音楽礼拝
法 瞑想 Christian Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 音楽チャペル 聖歌隊
人 嶺 重 淑 (宗教主事)
国 学生活動報告 献血実行委員会
聖和 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
理 林 美 恩 (香港メソジスト宣教会宣教師)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

6月18日(木)神 シリーズチャペル “Mastery for Service” 水 野 隆 一 (神学部教授)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 春の音楽チャペル③ バロックアンサンブル
法 我らが許すように Christian Hermansen (宣教師)
経 経済と人間④ 山 鹿 久 木 (経済学部教授)
商 献血実行委員会
国 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
聖和 友のために自分の命を捨てる 前 川 裕 (理工学部宗教主事)
総 西 野 桂 子 (国際政策学科教授)

6月19日(金)院 木 村 愛 (経営戦略研究科職員)
神 高 木 政 臣 (神学研究科M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済と人間⑤ 井 口 泰 (経済学部教授)
人 夏の献血週間を覚えて 献血実行委員会
聖和 あなたがいるから ホイッカーズ・小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
理 前 川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
6月19日(金) 経営戦略研究科のために 定 藤 繁 樹 (経営戦略研究科長)

6月20日の世界難民の日を覚えて

テュアン シャンカイ

世界にはおよそ5000万人以上の難民が居るといわれています。難民と言われるとなかなかピンと来ない方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単に説明しますと「祖国で迫害を受ける恐れがあるために他国に逃げざるを得ない人」を難民と呼んでいます。日本においてもおよそ1万人以上の難民が居るといわれています。1980年代から現在に至るまで毎年1000人規模で日本に難民がやってきています。しかしながら、日本の場合、先進国と比較して難民として認められるまでに3年から5年、長い場合は7年以上もかかります。このように日本における難民の受け入れ体制はあまり整っていないのが現状です。

このような現状があるなかで、国連をはじめとして日本にありますNPOやNGOが日頃から難民の保護や支援に力を入れています。関西学院大学においても2006年に全国で初となる難民を対象とした推薦入学制度を導入し、私もその6期生として総合政策学部へ入学しました。また最近では学生が中心となって様々な切り口で難民の認知啓発や支援活動を行っています。いらなくなった衣服を難民キャンプへ届けるプロジェクトや、難民に関連した映画を上映するプロジェクトなど幅広い分野で学生発の難民支援を今日に至るまで行っています。

私も大学1年生の頃に日本で暮らす難民の方々の祖国の味を大学の学食で提供する「Meal for Refugees」を立ち上げました。難民を知って支えるをモットーにこれまでに北海道から関西までおよそ15大学が加わっており、関西学院大学でも毎年5月と6月に上ヶ原キャンパスと三田キャンパスで導入されています。

このように現在では様々な切り口で難民の認知啓発や直接支援がなされてきましたが依然として難民の方への公的な保障は十分とは言えません。しかし、そんなときに日本に住む私たち一人ひとりが難民の生活や心を支える助っ人になることが多くあります。難民の状況を理解して自分の意識を変えることも大きな一歩です。難民が抱えている問題が自分や日本と関係ないと思うのではなく、国際社会、日本社会、そして難民の方々を学生として受け入れている関西学院大学の一員としてどうしたらいいか考えていただけたら幸いです。

(総合政策学部4年)

●オルガン音楽の泉 2015 Spring Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第3回 6月23日(火) 瀬尾 千絵(日本基督教団 神戸教会オルガニスト)

第4回 7月1日(水) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

いずれも12時50分～13時20分(12時40分開場予定)

ところ:関西学院中央講堂

問合せ:宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

6月主題:「ペンテコステ(聖霊降臨祭)を覚えて」

6月18日(木) 田淵 結(宗教総主事)

6月25日(木) 舟木 譲(大学宗教主事)

●春の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間:6月22日(月)～26日(金)

受付場所:吉岡記念館ラウンジ

主 催:宗教総部献血実行委員会

●ランパスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。どなたでもお気軽にご参加ください。

6月22日(月)「人とつながる・命とつながる～献血をとoshie～」

ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)10:35～11:05

*ランパスチャペルアワー委員会は、共にチャペルをつくる学生を募集しています。

興味のある方は、吉岡記念館事務室・宗教センターに声をおかけください。

●関西学院大学主催 春季人権問題講演会 「ハンセン病～今、私たちにできること～」

と き:7月8日(水)11:10～12:40

ところ:社会学部101号教室(西宮上ヶ原キャンパス)

講 師:金 正美氏(字幕制作ディレクター・エッセイスト)

*手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライオンハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。